



「自分で出来る」を応援します

医療法人社団倫生会みどり病院

リハビリテーション科

# リハビリテーションとは？

- ・リハビリテーション(rehabilitation)の語源はラテン語です  
re(再び) + habilis(適した)  
= 再び適した状態になること・本来の状態への回復
- ・WHO/世界保健機関(1969)では...  
「リハビリテーションは障害(能力低下や社会的不利)及びそれにもたらず状態を改善し、障害者の社会的統合を達成するためあらゆる手段を含んでいる」と定義されています

# 人員配置

みどり病院リハビリテーション科のスタッフは、

- ・理学療法士 8名
- ・作業療法士 2名
- ・言語聴覚士 2名
- ・クラーク1名

の13名が在籍しています

少人数ですので連携がとりやすく、

困ったことなども質問しやすい環境です



# 訓練室風景



# 労働環境

- ・勤務時間は平日は8時30分～17時、  
土曜日は8時30分～12時40分です
- ・9時から訓練開始し、昼休みは1時間です
- ・リハビリスタッフは、子育て中のママ・パパが多くいます
- ・有休も順番に取得しており、しっかり消化できています
- ・月末など多少残業することもあります、  
仕事とプライベートは両立しやすい環境になっています

# 教育体制 ① 新人教育プログラム①

- ・既卒・新卒に関わらず、新入職員全員に、実施します
- ・全てのセラピストが新人教育を行い、より早く・より良い人間関係の構築を目指しています





# 教育体制 ① 新人教育プログラム②

- ・**プリセプターシップ**を導入し、特に新卒スタッフには、各個人の習熟度に合わせて、丁寧に指導しています
- ・セラピストとして必要な知識は勿論、社会人として必要なマナーなども、丁寧に指導していきます



# 教育体制 ① 新人教育プログラム③

## 新人症例発表会

兵庫県士会主催で、毎年1月頃開催されています  
その発表に向けて、秋頃から準備を行います



初期評価と最終評価、そこから考察、  
抄録作成など、プリセプターの指導の  
もとで行っていきます



# 教育体制 ②

## 文献抄読会

- 毎週金曜日に、テーマを設けて勉強会と、それに沿った文献抄読を行っています

「糖尿病」 文献20本

「心不全・フレイル」 文献20本

「呼吸器リハビリテーション」 文献20本

「心臓リハビリテーション」 文献20本



# 院内連携

- 月曜日：患者カンファレンス  
/手術カテ検討委員会
- 火曜日：3F退院支援カンファレンス
- 水曜日：2F院長回診  
/退院支援カンファレンス
- 木曜日：循環器カンファレンス



リハビリテーションカンファレンスシートについて（毎週作成）

現状報告（現病歴・既往歴・身体精神機能・基本動作・ADL・嚥下）と最終目標（入院前情報・方向性・問題点・目標）を記載し、情報共有の資料としています

# 院外活動

## 健康教室の実施

- ・年に1～2回、地域住民の方々を対象とした健康教室を行っています
- ・2017年度 「運動と栄養」・「姿勢」(2回実施)
- ・2018年度 「誤嚥予防」・「転倒と骨折」(2回実施)
- ・2019年度 「もの忘れについて」(1回実施)

(※COVID-19の感染拡大以降は見合わせています)

# リハビリテーション科 施設基準 ①

## 疾患別リハビリテーション料 一覧

- 脳血管疾患等リハビリテーション料 II
- 廃用症候群リハビリテーション料 II
- 運動器リハビリテーション料 I
- 呼吸器リハビリテーション料 I
- がん患者リハビリテーション料



# リハビリテーション科 施設基準 ②

## 対象疾患

### 脳血管疾患等リハビリテーション

急性発症した脳血管疾患または手術後の脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、脳外傷、脳炎、急性脳症、髄膜炎など

急性発症した、又は手術後の脳腫瘍、脊髄損傷、脊髄腫瘍、脳腫瘍摘出術などの開頭術後、てんかん重責発作など

パーキンソン病、脊髄小脳変性症、筋委縮性側索硬化症、末しょう神経障害、皮膚筋炎、多発性筋炎など

失語症、失認症および高次脳機能障害の患者

顎、口腔の先天異常に伴う構音障害、舌悪性腫瘍の手術による構音障害を有する患者

# リハビリテーション科 施設基準 ③

## 対象疾患・対象患者様

### 廃用症候群リハビリテーション

急性疾患等に伴う安静（治療の有無は問わない）による廃用症候群で、一定以上の基本動作能力、応用動作能力、言語聴覚能力及び日常生活能力の低下があること

# リハビリテーション科 施設基準 ④

## 対象疾患

### 運動器リハビリテーション

上・下肢の複合損傷（骨・筋・腱・靭帯・神経・血管のうち3種類以上の複合損傷）、脊椎損傷による四肢麻痺、体幹・上下肢の外傷、骨折、切断、離断（義肢）、運動器の悪性腫瘍など

関節の変形疾患、関節の炎症疾患、熱傷瘢痕による関節拘縮、運動器不安定症など

# リハビリテーション科 施設基準 ⑤

## 対象疾患

### 呼吸器リハビリテーション

肺炎、無気肺

肺腫瘍、胸部外傷や、これらの手術後、肺塞栓、肺移植手術、慢性閉塞性肺疾患（COPD）など

気管支喘息、気管支拡張症、間質性肺炎、塵肺、びまん性汎気管支炎、気管切開の患者、人工呼吸器管理下の患者、肺結核後遺症など



# リハビリテーション科 施設基準 ⑥

## 対象疾患・対象患者様

### がん患者リハビリテーション

入院中にがん治療のための手術、化学療法、放射線治療、造血幹細胞移植が行われる予定、もしくは行われた患者様

緩和ケア主体で治療を行っている進行がん又は末期がん患者様が、在宅復帰を目的とした場合

# ～仕事の流儀～

みどり病院リハビリテーション科のコンセプト

あなたの「自分でできる」を応援します

むやみに患者様へ「できる」をすすめるのではありません。それが本当に「できる」事かどうか  
身体能力や認知機能等の評価をして、  
現実的な目標を定める事が  
セラピストに必要な能力だと考えています

# 仕事の流儀 PT（理学療法士）

理学療法では、日常生活を行う上で基本となる「寝返る、起き上がる、座る、立つ、歩く」などの基本動作能力の改善・維持を主な目的として運動療法や物理療法を用いて訓練を行い、その人らしい自立した生活が送れるようADLの改善・QOLの向上を目指します。

# 仕事の流儀 PT（理学療法士）

## PTによる機能評価：身体機能評価

- ・フィジカルアセスメント（視診、触診、聴診など）
- ・形態測定 ・ 関節可動域 ・ 筋力 ・ 疼痛 ・ 感覚
- ・運動麻痺 ・ 反射 ・ 筋緊張 ・ 協調性 ・ バランス
- ・姿勢・動作分析 ・ 運動耐容能 など

理学療法士は「動作の専門家」です。

関節可動域や筋力、麻痺などを検査・測定するとともに、姿勢・動作分析を行います。個人に合わせた治療・動作訓練・環境設定により身体機能の改善を目指します。



身体機能評価で  
「できる」をサポート



# 仕事の流儀 PT（理学療法士）

## PTによる機能評価：姿勢分析



- ・ 臥位
- ・ 長座位
- ・ ギャッチアップ座位
- ・ 端座位
- ・ 椅子座位
- ・ 車椅子座位
- ・ 立位
- ・ 片脚立位
- など

視診・触診などの手段を用い、患者様の姿勢をよく観察しながら「姿勢分析」を行います。異常姿勢の原因を評価し、個人に合わせた治療プログラムを立案し、身体機能の改善を目指します。

姿勢分析で  
「できる」をサポート

# 仕事の流儀 PT（理学療法士）

## PTによる機能評価：動作分析①



- ・寝返り
- ・起き上がり
- ・起立
- ・着座
- ・移乗
- ・歩行
- ・階段昇降
- ・日常生活動作
- など

基本動作や日常生活の中の様々な動作を観察し、「動作分析」を行います。正常な動作からの逸脱を見つけ出し、身体機能評価と照らし合わせながら問題点を抽出します。問題点に応じた治療・動作訓練・環境調整を行い、動作能力の改善を目指します。

動作分析で  
「できる」をサポート

# 仕事の流儀 PT（理学療法士）

## PTによる機能評価：動作分析②



動作分析で  
「できる」をサポート

より安心・安全な移動手段の  
獲得のために、  
その方の動作能力に合わせた  
歩行補助具の提案も行っています。

### 【歩行補助具】

- ・ T字杖
- ・ 多点杖
- ・ ロフストランド杖
- ・ 松葉杖
- ・ 前腕支持型歩行器
- ・ 固定式歩行器
- ・ キャスター付き歩行器
- ・ シルバーカー など



# 仕事の流儀 PT（理学療法士）

## PTによる機能評価：動作分析③

必要に応じて、医師や義肢装具士と相談しながら、補装具の提案も行っています。

訓練中に装着方法の練習も行い、自立した生活を送るためのサポートをしていきます。



### 【治療用装具】

- ・体幹装具（コルセットなど）
- ・下腿装具
- ・膝装具
- ・足装具
- ・サポーター
- など

動作分析で  
「できる」をサポート



# 仕事の流儀 PT（理学療法士）

## PTによる機能評価：運動耐容能評価

運動耐容能とは・・・

身体運動負荷に耐えるために必要な呼吸や心血管系の機能、全身持久力や有酸素能力などのことを言います。

運動負荷試験で評価され、代表的なものに6分間歩行試験、シャトルウォーキングテストがあります。

ただ歩けたらいい、というわけではありません。

6分間歩行試験を行い、それぞれの患者様に必要な運動耐容能を獲得できるような訓練を行っています。



運動耐容能評価で「できる」をサポート



# 仕事の流儀 PT（理学療法士）

## PTによる機能評価：住環境評価

OT・STとも協力し、患者様、ご家族様、ケアマネジャー、福祉用具業者の方と相談しながら、その方の身体機能や動作能力に応じた動作指導、福祉用具・住環境の提案、住宅改修のアドバイスを行っています。  
必要に応じて住宅訪問をさせていただいたり、介護者の方へ介助方法をお伝えしたりしています。



住環境評価で  
「できる」をサポート

# 仕事の流儀 PT（理学療法士）

## PTによる機能評価：まとめ



理学療法士は、生活の基礎となる「基本動作能力」の向上を目指しています。最適な評価と治療で、その人らしい自立した生活が送れるよう、患者様・ご家族様をサポートしていきたいと考えています。

# 仕事の流儀 OT（作業療法士）

作業療法では、仕事・趣味や日常生活行為（食事・整容・更衣・排泄・入浴）など、その人らしい生活が送れるように、様々な「作業」を通して身体活動や精神活動の向上を図ります。そして、退院後も安心して生活できるように、住宅改修や福祉用具の相談にも力を入れています。また認知症に対する評価や訓練も行っています。

# 仕事の流儀 OT（作業療法士）

## OTによる機能評価：身体機能評価



- ・ 関節可動域の評価
- ・ 筋力の評価
- ・ 感覚の評価
- ・ 運動麻痺の評価 など

◆ 日常生活に支障となる身体機能の評価を行い、作業活動を用いて機能訓練を行います。特に肩や肘、指先の動作について詳細に評価を行っています。



簡易上肢機能検査（STEF）

身体機能評価で「できる」をサポート



# 仕事の流儀 OT（作業療法士）

## OTによる機能評価：認知機能評価①



認知機能評価で  
「できる」をサポート

- MMSE-J  
(日本語版Mini Mental State Examination)
- HDS-R  
(改訂 長谷川式簡易知能評価スケール)
- MoCA-J  
(日本語版Montreal Cognitive Assessment)

◆認知症のスクリーニング検査や、MCI（軽度認知障害）のスクリーニング検査を行っています。



# 仕事の流儀 OT（作業療法士）

## OTによる機能評価：認知機能評価②

認知症 無料

65歳以上の神戸市民

Illustration of a family: a man, a woman, and two children.



神戸市認知機能検診検診（第1段階検診）も  
行っています。

検診をご希望の方は受付へ  
お問い合わせください。

# 仕事の流儀 OT（作業療法士）

## OTによる機能評価：ADL評価①



### ADL (Activities of Daily Living)

◆ADLとは、食事・整容・更衣・排泄・入浴などの日常生活動作のことです。

- Barthel Index (BI)
- Functional Independence Measure (FIM)

◆標準化されたバッテリーを用いて日常生活の自立度を評価しています。

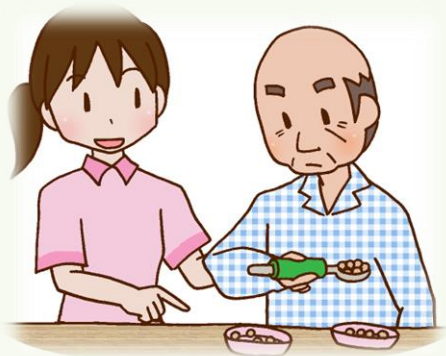
ADL評価で  
「できる」をサポート

# 仕事の流儀 OT（作業療法士）

## OTによる機能評価：ADL評価②

◆患者様の身体機能や住宅環境に合わせてADL訓練を行います。

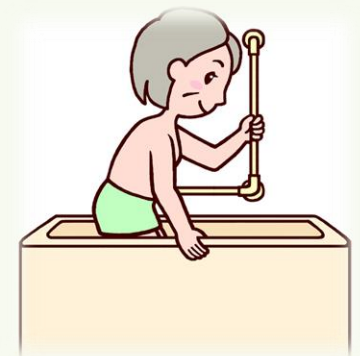
< 食事動作 >



< 排泄動作 >



< 入浴動作 >



◆必要に応じて福祉用具も導入し、動作の訓練を行います。  
(補助スプーンや、ポータブルトイレなど)



# 仕事の流儀 OT（作業療法士）

## OTによる機能評価：住環境評価①



住環境評価で  
「できる」をサポート

入院中の患者様が、退院後の環境（ご自宅や施設など）でその人らしい生活が継続できるように、住環境の評価を行っています。ご自宅に訪問させていただいたり、ご自宅各所の写真や図面を提示して頂き、訓練の参考にさせていただきます。

# 仕事の流儀 OT（作業療法士）

## OTによる機能評価：住環境評価②

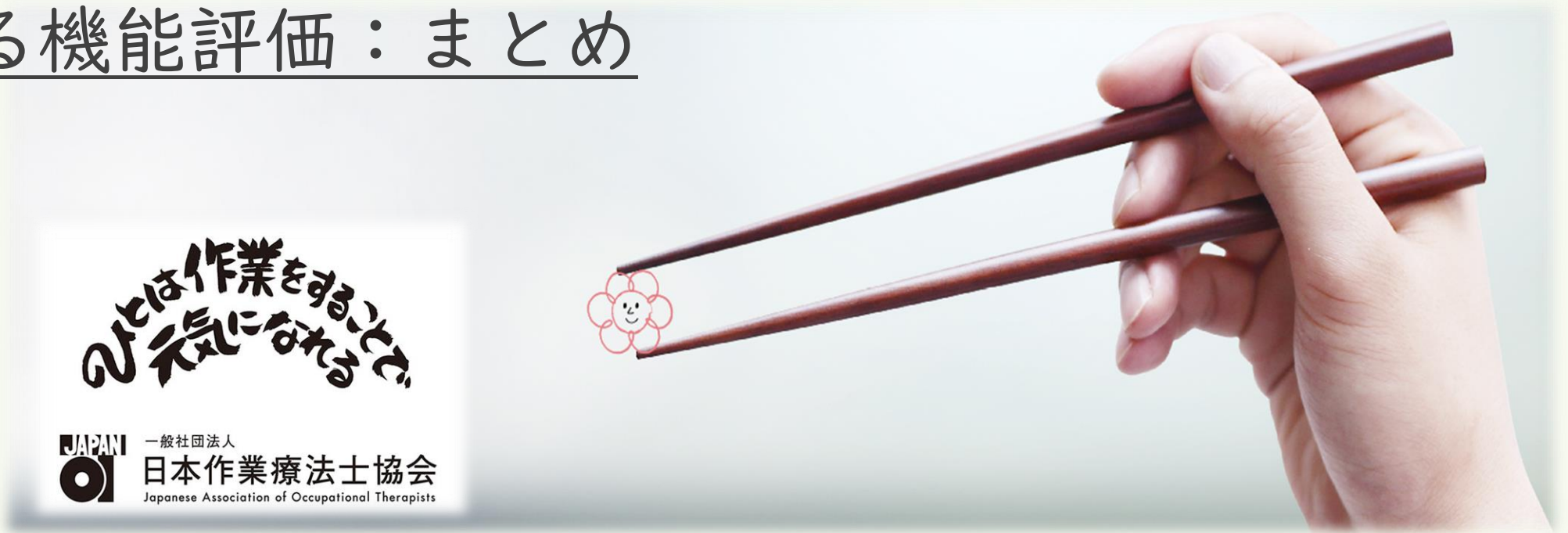


専門的な評価に基づき、  
心身機能に応じた動作指導、  
福祉用具の紹介、手すりの設置などの  
住宅改修のアドバイスを行っています。  
また、介護者の方にも、  
自立を支援するための介助方法や、  
介助負担軽減のポイントをお伝えします。



# 仕事の流儀 OT（作業療法士）

## OTによる機能評価：まとめ



これらの評価に基づき、患者様の心身機能や住環境に合わせADL訓練を行います。

作業療法士は、患者様が少しでもお一人でできることが増えるように、  
介護者様の負担が少しでも減るようにと考えながら、日々取り組んでいます。

# 仕事の流儀 ST（言語聴覚士）

言語聴覚療法では、様々な原因で言葉に障害がある患者様への言語訓練と、嚥下（食べたり飲んだりすること）に問題を抱えた患者様に対する嚥下訓練を行っています

嚥下訓練では実際に食事の場面に立ち会い、その人にとって食べやすい物や食べやすい姿勢を一緒に考えていきます

# 仕事の流儀 ST（言語聴覚士）

## STによる機能評価①：言語評価



言語評価で  
「できる」をサポート

### 言語障害とは…

脳卒中後に、失語症（言葉が浮かばない症状）や構音障害（口がうまく動かず話しにくい症状）がおこることがあります。

また認知症でも、これらの症状が見られることがあります。

# 仕事の流儀 ST（言語聴覚士）

## STによる機能評価①：言語評価

### 言語評価…

失語症は「聴く・読む・話す・書く」の4つの側面の評価をします。構音障害はどの音で歪みがあるのかを評価していきます。

また顔面や舌に麻痺があったり、感覚障害があるかどうかも検査します。

患者様やご家族様から、現在の症状はもちろん、病前の状況なども伺いながら、多面的に言語評価を行っていきます。

# 仕事の流儀 ST（言語聴覚士）

## STによる機能評価②：嚥下機能評価

### 嚥下機能障害とは…

食べたり飲んだりが困難になる事です。

例えば、食事中にムセが頻回に起こる、食事時間が長くかかるようになった、等の症状があります。

脳卒中などの病気により筋肉や神経がうまく動かなくなる事や、加齢による機能低下、また認知症による影響など、原因は多岐にわたります。

嚥下機能評価で「できる」をサポート





# 仕事の流儀 ST（言語聴覚士）



## STによる機能評価②：嚥下機能評価

- ・ **身体評価** 嚥下する上で必要な、顔面・舌などを動かすための脳神経に問題がないかを調べます。構音障害がある場合は、口唇や舌に運動麻痺があることが多く、同時に嚥下障害もみられることがあります。
- ・ **食事場面の評価** 食事が提供されている場合は、食事時の姿勢、食べるスピード、ムセの有無などを評価します。また食事前後でしっかり声が出るか、意図的に咳が出せるかなども確認します。

# 仕事の流儀 ST（言語聴覚士）

## STによる機能評価：まとめ



JAS



一般社団法人

日本言語聴覚士協会

Japanese Association of  
Speech-Language-Hearing Therapists

言語聴覚士は、言語や嚥下機能に問題を抱えた患者様が、ご自身の望む、豊かな生活をおくれるように、評価や訓練を行っています。

患者様やご家族様に寄り添い、こちらの通ったリハビリテーションの提供が出来る事を心掛けています。



医療法人社団 緑生会

みどり病院

# 仕事の流儀 専門診療との伴走

PT・OT・STが行うこれらの機能評価は、治療の効果判定や、方向性を決定する際の判断材料の一つになるよう、常に主治医と連携をとりながら行っています



入院・治療



退院調整



外来・在宅

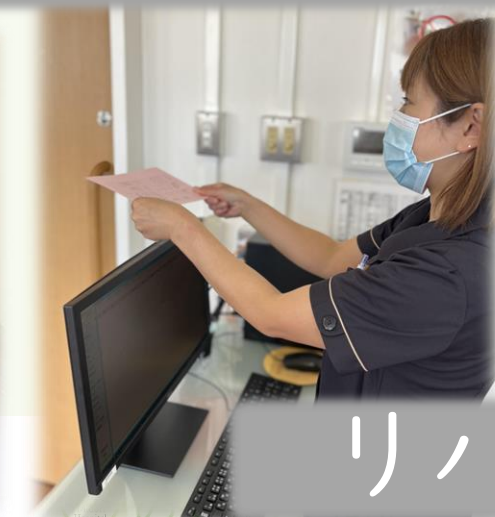




おわりに・・・



「自分で出来る」を応援します



リハビリテーション科